

ご挨拶

本日はお忙しい中 第73回光陽展広島準本展をご高覧賜り、誠にありがとうございました。

被爆80年の今年 平和やヒロシマをモチーフにした作品も数多く見受けられました。被爆後70年は草木も生えないと言われていた広島。

沢山の人々が水を求め、飛び込んだ川。その川べりには木々が青々と茂り、広島は緑ゆたかな街となりました。

青葉の美しいこの季節 美術館へお運び頂いた皆様へ心よりお礼申し上げます。

本状をもちまして、お礼状に代えさせていただきます。

令和7年5月

光陽会広島支部 支部長 木村 順子

— | 光陽会のあゆみ | —

創立1953年(昭和28年)2月11日。

太平洋画会(現 太平洋美術会)代表であった多々羅義雄を代表に創立。

当時の宣言に「我々は各々自由な立場に於いて真摯な態度で、民族性を活かした独自の芸術を創作することを目的として、今回新たな光陽会を結成する」とあります。

以後、上野松坂屋本館での展覧会を経て、1961年より東京都美術館で公募展を開催し現在に至っています。

- 光陽会会長 岡本 邦治
- 光陽会事務所 さいたま市浦和区大東3-28-23
西村 俊彦 方
- 光陽展 広島展事務所 広島市西区観音町12-3-1405
木村 順子 方
(090-1332-4609)

- ・ 光陽会ホームページ <http://koyokai.jp/>
- ・ 広島支部員作品は、<https://hiroshima-art.net>
ひろしまインターネット美術館でご覧いただけます。